

強風時の体験

小松営業所 中新 理

4月初旬。強風の予報が出ていた日中に、お客さまから「構内の電柱にトタンが巻きついている。危ないと思うので早く見に来てほしい。」と電話がありました。

早々にお客さま事業所へ出向き、現状を確認したところ、北陸電力柱からお客さま構内第一柱の引き込み電線にトタンが巻きついている状態でした。

このまま放っておけば、電線が切れ不意の停電になることが懸念されましたので、お客さまの業務が忙しい時間帯ではありましたが、いつでも電気を止められる状態にさせていただくようお願いしました。また、電気事業者の配電線の為、波及事故（配電線設備の故障のほかに、お客さまの高圧自家用受変電設備の故障が原因で電気事業者の電気設備に停電等の影響を及ぼすこと）の可能性もあり、北陸電力へ現状を連絡し、すぐに対応していただくようお願いしました。

しばらくして電力会社の社員が到着し、現状を確認してもらい電気工事業者の手配をしていただくことになりました。しかし、「今日は強風の影響でほかの故障現場に出動しているため、2・3時間待ってもらうことになる」と、言われました。その間にも強風でトタンがミシミシと音を立てているのが不気味でしたが、どうすることも出来ませんでした。

その後、お客さまの停電の了解が得られたので、停電して作業を行うことになりました。念のため風も強く復旧に時間を要する旨をお客さまにお伝えしたところ、「仕事の関係もあるので早く電気が欲しいけど、自然相手だし急いでも仕方がないから待ってるよ」と言っていました。何とか早めに復旧して欲しいことを電力社員に話したところ、1時間後に作業車の手配が出来るとのことで広報車により事前に付近一帯を停電させることを周知していただくことになりました。その後、無事、業者の方も到着し、配電線を停電して作業車によりトタンを取り除くことが出来ました。

今回は、強風という自然災害が相手でしたが、お客さまの協力はもとより電力会社・電気工事業者の迅速な対応もあり、不意の停電を回避することが出来ました。

これからも、お客さまの電気設備の安全を守るべく、「誠実・正確・敏速」に対応していきたいと思えます。

